

業 種	トラック
取組分野	安全重点施策の達成に向けた安全活動取組の連携 横断的な情報伝達及びコミュニケーションの確保
テ ー マ	拠点での取組等を日次で紹介して次の拠点へつなげていく『安全運転リレー』による事故削減目標達成に向けた横断的な連携及び情報共有
取組の狙い	「社内交通・労働安全活動 強化期間」と連動し事故削減目標達成に向けた取組として、拠点（個配センター82か所）で取り組んでいる安全活動を紹介する。これにより、交通事故削減へ向け全従業員が安全意識を高めるとともに、個配センター間の連携を深め、さらに全社横断的な情報共有及びコミュニケーションを確保する。
具体的内容	<p>1. 実施の背景 安全重点施策の目標達成に向け、拠点（個配センター）での有効な取組を情報共有し、また、コロナ禍で拠点間のコミュニケーションが取れない状況から、全拠点が参加して情報共有を行う『安全運転リレー』を令和2年8月に実施。令和3年4月からは『<u>安全運転リレーアゲイン</u>』として実施した。</p> <p>2. 実施方法</p> <p>① スタート拠点は、事故等の削減に向けた取組内容を全ての拠点へ紹介するため、取組内容を本社に提出する手順</p> <p>② 本社は、提出された取組内容を安全統括管理者及び事業本部が確認し、コメントを入れる等して社内イントラに掲載。全拠点到配信するとともに、本社コミュニティールームに掲載</p> <p>③ 日次で次の担当拠点は、上記①と同様に取組内容を作成して本社に提出。本社は、上記②と同様に取組内容を確認して社内イントラに掲載、全拠点到配信する等を実施。</p> <p>④ 安全運転リレー経過表（別添1参照）により、上記③を繰り返し、全ての拠点の配信等が終了するまで実施</p> <p>3. 具体的取組内容 各拠点の取組内容は、バック事故の削減及び削減による台車活用の検証、反射・視覚トレーニング、降雪対応等。その一部は別添2～5参照</p>
取組の効果	<p>① 安全意識の再確認、取組の絞り込み、一体感 事故削減目標達成に向けた取組内容を紹介することにより、拠点内における安全に対する意識への再確認、取組むべき内容の絞り込みができ、また目標達成への従業員の一体感が向上。</p> <p>② 他拠点への展開と取り入れ 他拠点が実施している取組に興味を持つことができるとともに、他拠点が実施している取組を自拠点に取り入れて実施できる。</p> <p>③ 褒める文化 他拠点の取組内容を褒めることができることによる褒める文化の醸成</p>

④ 事故削減効果
バック時の事故発生件数が減少傾向

	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (11月末まで)
バック事故増減率 (対前年比)	33%増加	15%削減	11%削減

⑤ 事故削減による業務軽減
事故発生件数減少傾向による、事故対応等業務の軽減

事業者名 株式会社流通サービス 事業本部（運輸安全マネジメント事務局）
(連絡先：048-920-2500)



2021年4月1日号

発行センター

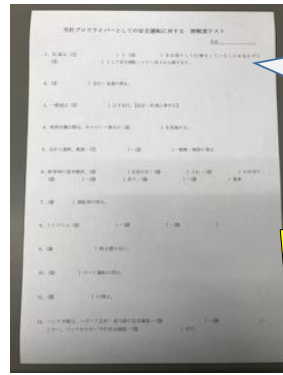
- 畑中センター
- 稼働台数 23台
- 社員数 25人

安全運転

センターリレー



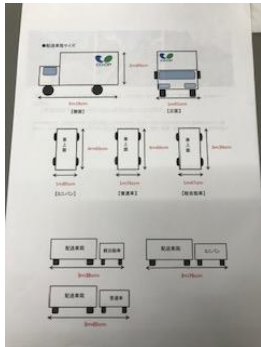
バック事故の削減取り組み



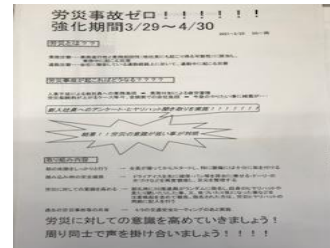
25問出題。
1問4点の採点
～

**予習なし！
ぶっつけ
本番テスト！！**

当センターでは、47期事故が3件発生しております。その内、2件についてはバック事故です。月例では、車両を活用した実技訓練を軸に安全運動を開催していましたが、今一度原点に戻るために、当社プロドライバーとしてどれ程安全を理解出来ているかの確認を行うため、理解度テストの試験を実施しました。テスト項目は、駐車時の基本動作・バック時での動作手順、当社安全ルールを中心にした設問となっています。テスト結果では、100点以下4人、90点以下9人、80点以下6人、70点以下2人、60点以下2人。日ごろ、現場で安全動作を行っていても、いざテスト問題となると中々難しと社員から声があがっておりました。



基本に戻る為に、車両の高さ・幅・長さを理解出来るシートを作成しました。シートからも、道幅5m以上あれば離合はスムーズであるが、4m以下になると相手車両が普通車であれば離合困難。新入社員が増えた事を踏まえ、自身が使用している車両の大きさを理解する事で、古い住宅地等では、十分接触



ちなみに、労災事故撲滅にも取り組んでいます！！

新入事故撲滅の取り組み



入社2ヶ月、一人立ち1ヶ月未満の新入社員に対し、管理者が添乗指導を行っております。チェックシートを用いて、安全確認動作(基本動作含む)、バック手順や回数、又バックが必要な場所かの判定確認を行います。更に、引継者(管理者)がしっかりと新入社員に対し安全に配送を行える整備、コースメンテナンスや台車活用の指導が行えているかも確認しています。添乗後は、1日の振り返りの個人面談を行い、良い分の賞賛事項と改善して貰いたい部分を直接新入社員へ伝え指導しています。また、引継者にも1日添乗した内容を伝え問題点については、新入社員と一緒に考え改善を図り、事故削減に努めています。

滋賀・南草津センター

48期社内交通安全運動

